



# いもる

'82  
5月  
第290号



## 働く人

### 給食に込める 親の愛

梶 瑠璃子さん

市内には、小学校13校、中学校5校がある。それぞれ  
の学校で5700人の生徒が  
勉学に励んでいるが、その子  
供たちの昼食を一手に引受け  
ているのが給食センター。

そこで働く梶さんは、今年  
18年目のベテラン調理員。

「8時30分に仕事が始まり  
10時30分には給食を、それぞ  
れの学校へ運び出します」

毎日、栄養士の献立に従っ  
て一日6000人分の給食を  
16人の調理員たちが作って  
います。

調理場は、真冬でも夏の様  
な暑さで、仕事が終わる頃には  
汗でびっしょりになります。

重労働ですよ。

一週間の内、米飯とパン食  
が2回、めん類が1回ありま  
す。子供たちには、めん類の  
給食が一番人気があるみたい  
ですね。」

給食を作っている時、立ち  
昇る湯気に子供たちの笑顔が  
見えるという。

（給食センター調理員）